

証券コード：3091

株式会社ブロンコビリー

2025年12月期（連結） 第2四半期 決算説明資料

目次

- ・ 2025年12月期（連結）上期決算概要 P. 1
- ・ 2025年12月期（連結）業績及び配当予想と今後の取組み P.10
- ・ 参考資料 P.21

2025年12月期（連結）

上期決算概要

決算概要

2025年12月期（連結）

上期決算概要

■売上高過去最高、対前年で増収増益

※業績予想は2025年 1 月21日開示の数値です

(単位：百万円)	2024年		2025年				対 比	
	実 績	売上比	業績予想	売上比	実 績	売上比	2024年	業績予想
売上高	12,684	100.0%	14,300	100.0%	14,590	100.0%	115.0%	102.0%
売上原価	4,172	32.9%	4,776	33.4%	4,891	33.5%	117.2%	102.4%
売上総利益	8,512	67.1%	9,523	66.6%	9,699	66.5%	113.9%	101.8%
販管費	7,290	57.5%	8,123	56.8%	8,474	58.1%	116.2%	104.3%
営業利益	1,221	9.6%	1,400	9.8%	1,224	8.4%	100.3%	87.5%
経常利益	1,248	9.8%	1,430	10.0%	1,258	8.6%	100.8%	88.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	823	6.5%	910	6.4%	841	5.8%	102.1%	92.5%

■既存店前年比 売上高 105.4% 客数 100.2% 客単価 105.2%

決算概要 貸借対照表（連結）

■ 自己資本比率は着実に高水準を維持

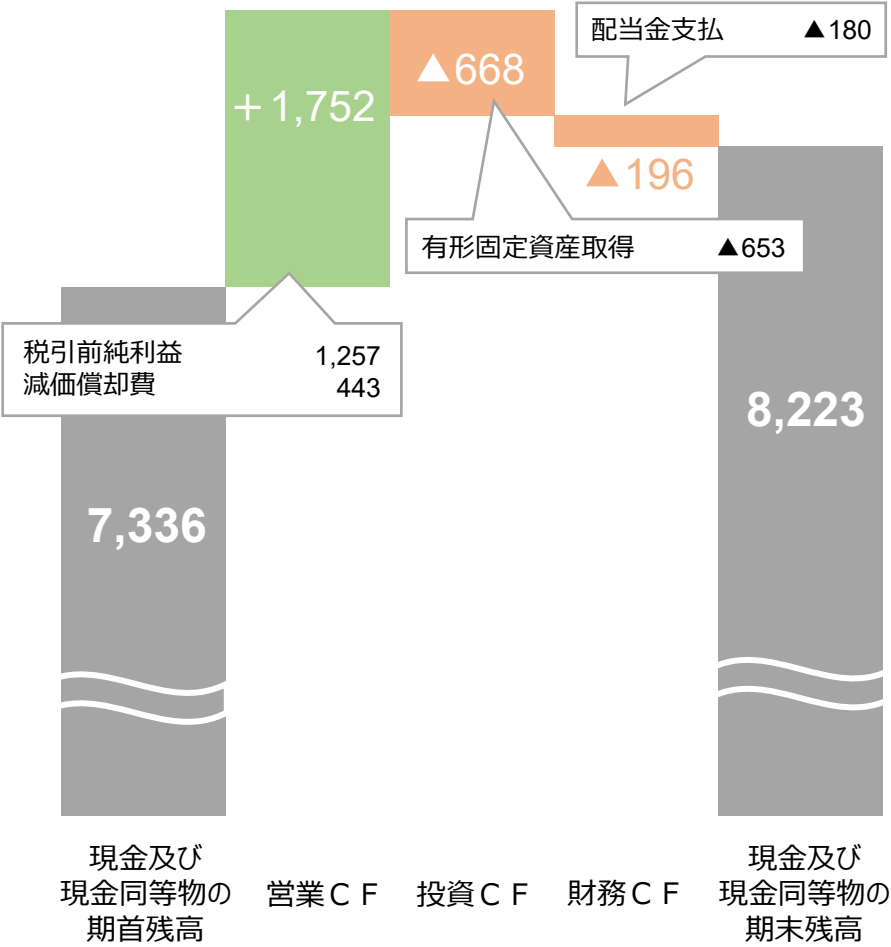
				主な変動項目			
(単位：百万円)		2024年 12月31日	2025年 6月30日	増減額	(単位：百万円)	2025年 6月30日	増減額
資 産	流動資産	9,893	10,357	+ 463	現金・預金	8,276	+ 887
	固定資産	14,627	14,979	+ 352	原材料及び貯蔵品	503	▲436
					有形固定資産	11,037	+395
	合計	24,520	25,337	+ 816			
負 債	流動負債	3,735	3,876	+ 140	未払金	1,626	+335
	固定負債	710	703	▲ 6	未払法人税等	477	▲87
					その他	446	▲138
	合計	4,446	4,580	+ 133			
純資産	資本金	2,210	2,210	—			
	利益剰余金	16,071	16,724	+ 652			
	その他	1,792	1,822	+ 29			
	合計	20,074	20,756	+ 682			
自己資本比率		81.6%	81.7%	+ 0.1pt			

決算概要 キャッシュ・フロー計算書（連結）

■ 潤沢な現預金残高を維持、下期以降は出店強化等への成長投資に充当予定

(単位：百万円)	2024年 12月31日	2025年 6月30日	増減額
現金及び現金同等物の 期首残高	6,623	7,336	+ 712
営業活動による キャッシュ・フロー	2,668	1,752	▲ 915
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 1,391	▲ 668	+ 722
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 564	▲ 196	+ 368
現金及び現金同等物の 期末残高	7,336	8,223	+ 887
現金及び現金同等物の 増減額	712	887	+ 175

(単位：百万円)



決算概要 出退店・投資 実績

■ステーキ業態で継続出店（3店舗：群馬・埼玉・大阪）、グループ合計157店舗

出退店実績

		2024年 期末店舗数	2025年上期（1～6月）				上期末店舗数
業態	合 計	154	出 店	退 店	計		157
ステーキ ハンバーグ	東 海	61	0	0	+ 0		61
	関 東	47	2	0	+ 2		49
	関 西	27	1	0	+ 1		28
	九 州	4	0	0	+ 0		4
とんかつ	東 海	14	0	0	+ 0		14
居酒屋	東 海	1	0	0	+ 0		1



【群馬県2店舗目】
ブロンコビリー 太田店（群馬県太田市）



【埼玉県14店舗目】
ブロンコビリー 羽生noNIWA店（埼玉県羽生市）



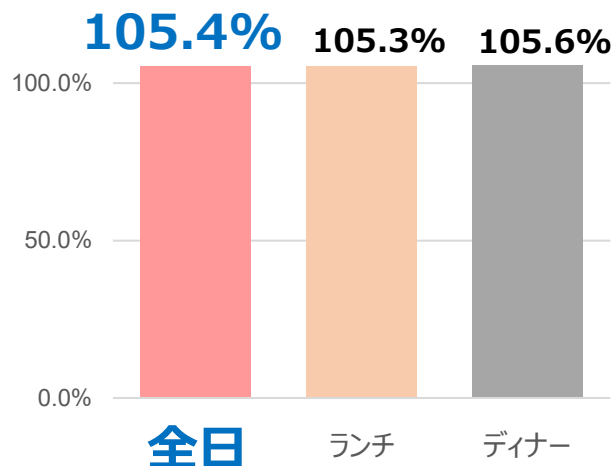
【大阪府11店舗目】
ブロンコビリー 吹田岸部店（大阪府吹田市）

決算概要 既存店状況（2025年上期前年比）

■ 既存店の確かな成長維持

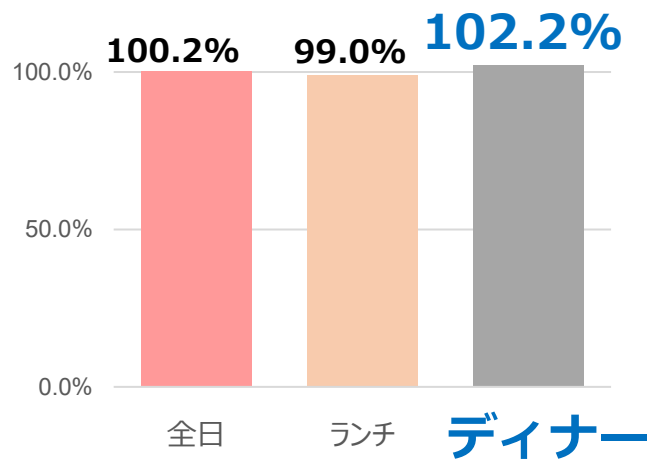
既存店前年対比

純売上高



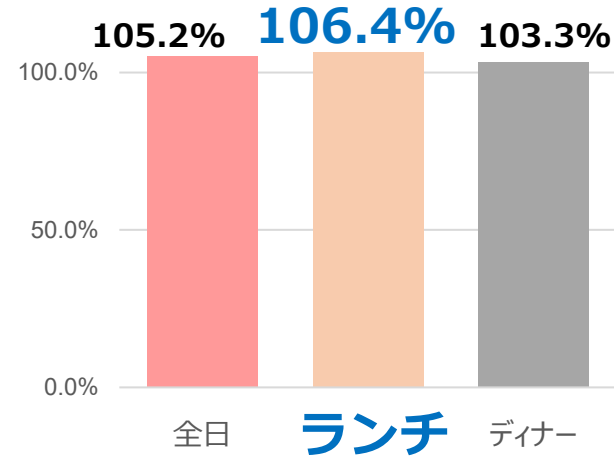
既存店前年対比

客数



既存店前年対比

客単価



決算概要 客単価増加策

■ 売れ筋価格帯に断続的に新しいステーキメニューを投入し、商品の魅力で顧客満足度を上げる

他社との差別化ポイント

- ① 定番メニュー化できない量でも、高品質原料で期間限定メニュー化
- ② 自社工場があるため、自社で難しい規格の原料もステーキの規格化が可能
- ③ コロナ期間中に店舗で新商品をおすすめするトレーニングを徹底

価格改定

ランチとディナーで一部価格改定
(2025年4月1日付)

【全店対象メニュー】



【地域限定メニュー】



■ 福袋販売



■ コミコミ祭り



■ミニチュアフェア



決算概要 客数増加策

■メニュー改訂年6回を継続し、来店きっかけを創出

サ ラ ダ バ ー

初春

1月16日～
3月6日

春

3月7日～
4月24日

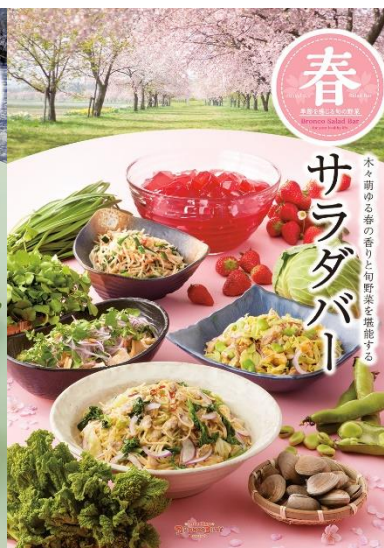
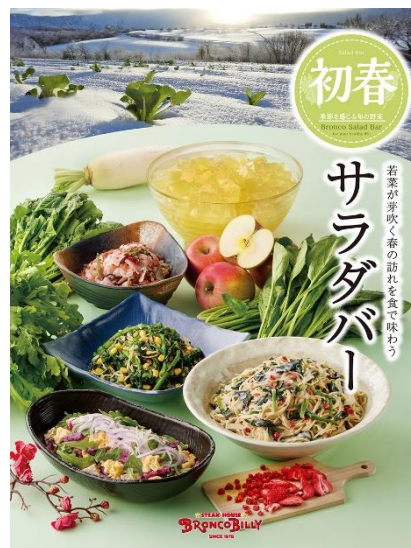
初夏

4月25日～
6月19日

夏

6月20日～

秋 冬



秋

冬

2025年12月期（連結）

業績及び配当予想と

今後の取組み

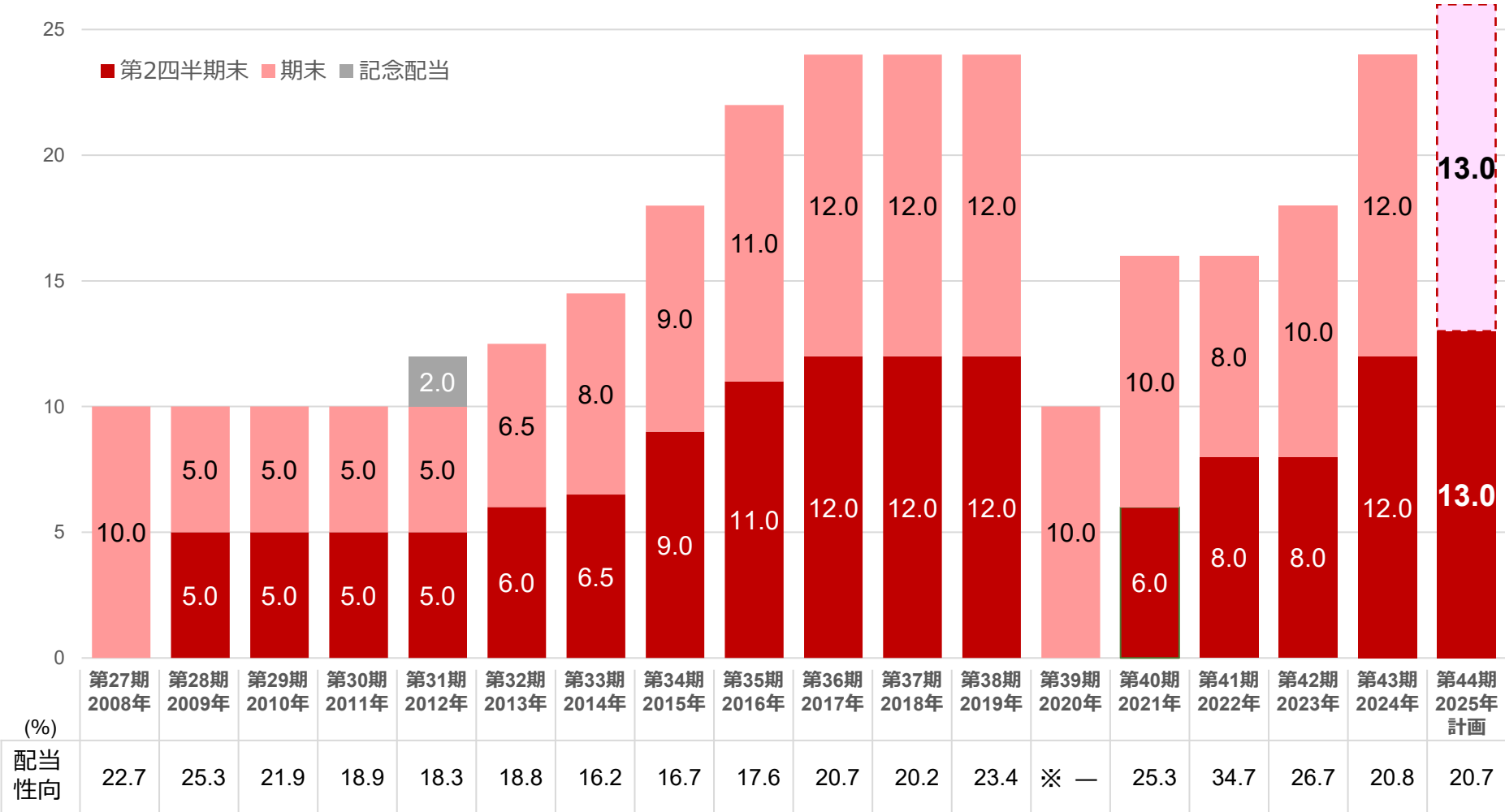
業績予想 2025年12月期 通期計画（連結）

■グループのさらなるシナジーを活かして着実な成長を継続

(単位：百万円)	2024年		2025年		対 比
	実 績	売上比	業績予想	売上比	2024年
売上高	26,617	100.0%	29,500	100.0%	110.8%
売上原価	8,615	32.4%	9,869	33.5%	114.5%
売上総利益	18,001	67.6%	19,630	66.5%	109.1%
販管費	15,470	58.1%	16,630	56.4%	107.5%
営業利益	2,531	9.5%	3,000	10.2%	118.5%
経常利益	2,600	9.8%	3,080	10.4%	118.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,715	6.4%	1,870	6.3%	109.0%

業績予想 配当予想

コロナ前の水準を超える年間26円まで増配
将来の事業展開に備え内部留保に努め、安定配当を基本方針



※2020年は当期純損失のため記載しておりません

業績予想 株主優待

権利確定

優待発送

年 **2** 回の株主優待

中間 6月 → 9月
期末 12月 → 3月

2022年6月権利確定分から
200株以上の優待拡充

所有株式数
(株)

株主優待券



魚沼産コシヒカリ



100～199

2,000 円分

200～499

4,000 円分

もしくは

2 kg

500～999

6,000 円分

もしくは

4 kg

1,000～1,999

9,000 円分

もしくは

5 kg

2,000～

16,000 円分

もしくは

10 kg

今後の取組み グループ成長戦略

両利きの経営でご馳走カンパニーのBBグループはさらなる成長発展へ

BRONCOBILLY



ご馳走カンパニー



新規事業の立ち上げ

探索

新業態開発

海外展開

M&A

既存事業の強化

★ STEAK HOUSE ★
BRONCOBILLY
SINCE 1978



株式会社 松屋栄食品本舗

既存店強化

組織体制強化

深化

- ・メニュー強化、組織横断型プロジェクト
- ・新たな客層ヘリーチ可能な販促（モノ→コト）
- ・SNS等メディア活用
- ・人材教育
- ・パーパス浸透
- ・Value UP

今後の取組み 店舗開発戦略

店舗サイズのラインナップを増やし、出店余地拡大と新業態開発を加速

現在店舗サイズ
110席～130席



① 現在店舗サイズ
110席～130席



3月：太田店（群馬県）
6月：吹田岸部店（大阪府）

② 出店加速を図るために
中型モデルの導入 & 検証
75席～90席

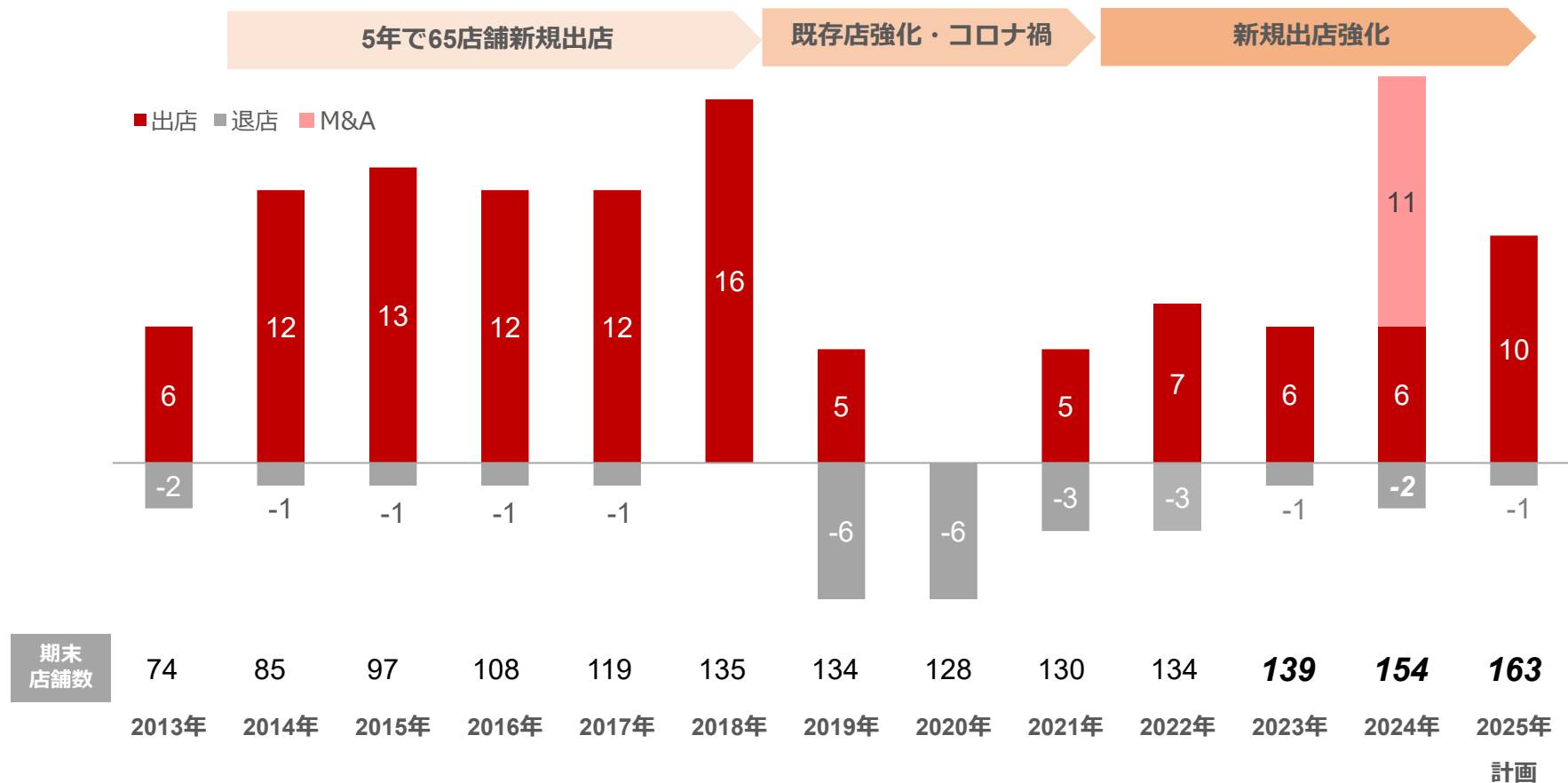
従来店舗よりワンサイズ小さな
店舗開発を行い、出店余地を拡大
6月：羽生noNIWA店（埼玉県）

③ 都心出店に向けて新業態を検証
20席～50席

駅前立地等に
さらにコンパクトな新業態店舗も開発

今後の取組み 出店戦略

従来出店地域を厳選してきた結果、コロナ禍で閉店を最小限に抑えられた
→2025年は引き続き**新規出店へ積極的投資**



今後の取組み

出店戦略

新規出店ペースを維持し、期末163店舗を目指す

関東・関西・九州地区をさらに強化、北関東進出も継続

前期末154店舗
(2024年12月末時点)

→今期末163店舗
(2025年12月末時点)

九州

期末5店舗
(+ 1 店舗(BB))

関西

期末29店舗
(+ 2 店舗(BB))

関東

期末52店舗
(+ 5 店舗 (BB))
北関東期末 4 店舗含む

東海

期末77店舗
(+ 1 店舗 (とんかつ))

		2024年 期末店舗数	2025年			期末店舗数
業態	合 計	154	出 店	退 店	計	
			10	-1	+ 9	163
ステーキ ハンバーグ	東 海	61	0	0	+ 0	61
	関 東	47	6	-1	+ 5	52
	関 西	27	2	0	+ 2	29
	九 州	4	1	0	+ 1	5
とんかつ	東 海	14	1	0	+ 1	15
居酒屋	東 海	1	0	0	+ 0	1

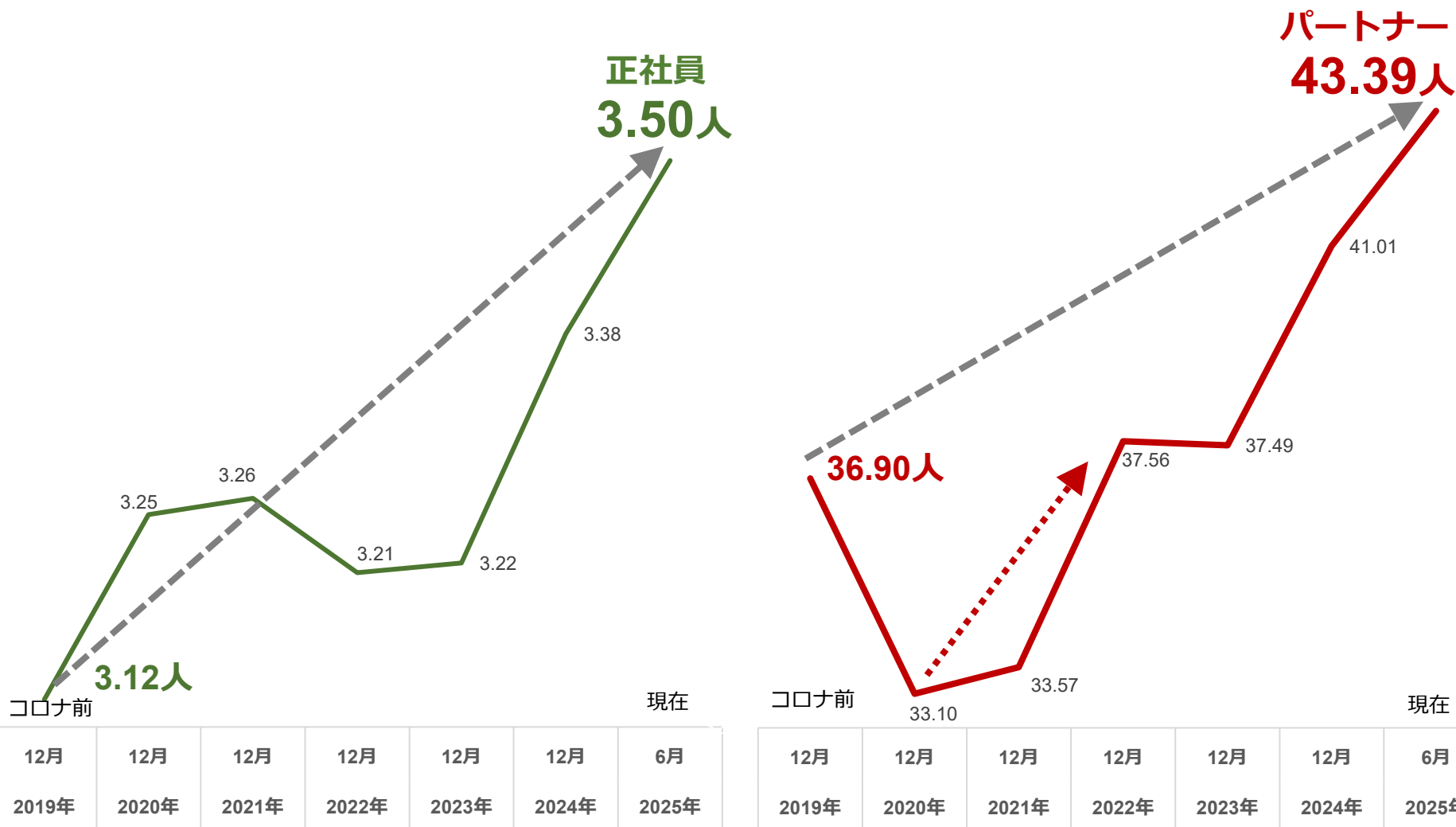
投資計画（2025年年間） 22億13百万円

(単位：百万円)		店 舗	(単位：百万円)		そ の 他
合 計		2,010	合 計		203
新規出店		1,352	ファクトリー（子会社工場含む）		153
既存店 改装等（子会社店舗含む）		658	システム		43
			その他		7

今後の取組み 人材戦略

■コロナ期間中もパートナー雇用継続し、コロナ前を上回る在籍数に回復

1 店舗あたりの在籍者数 (㈱ブロンコビリー単体)



今後の取組み M&A戦略（とんかつ業態拡大）

収益性を重視した新規出店を継続し、2026年までに20～30店舗へ拡大



**2026年
20～30店舗**

**2025年
15店舗**

・かつひろ、かつ雅、等 15店舗

**2024年
14店舗**

・かつ雅、等 11店舗

・かつひろ 3店舗



株式会社レ・ヴァン



**2023年
かつひろ 3店舗**

今後の取り組み M&A戦略（グループシナジー：松屋栄食品本舗）

過去5期連続赤字の会社が弊社グループ化2年（2024年11月期）で黒字化

①商品力と新たな提案力の強化

- よりおいしくすることへの挑戦
- 商品面での他業態への展開の支援

②店舗拡大に向けての生産キャパシティの拡大

- 製造ラインの半分をブロンコビリー向け改修、今後の店舗増加に対応
- 店舗調理の一部移管による店舗の調理工数低減

松屋全体での
ブロンコビリー店舗向け製造割合
60.5%

③外販向け商品の開発

- ブロンコビリーブランドを使った外販向け新商品提案
（店舗使用ソースやドレッシング類）
- 多様な販売チャネル化
（店頭販売・外部販売・ネット販売）

ブロンコビリーオリジナルドレッシング & お肉に合うオニオンソースが店頭販売を開始（2025年7月）



参考資料

社 名	株式会社ブロンコビリー
創 業	1978年
設 立	1983年12月26日
資 本 金	22億10百万円
本社所在地	愛知県名古屋市中村区椿町 1 番 5 号 B B ビル
代 表 者	代表取締役社長 阪口 信貴
事業内容	ステーキ、ハンバーグのレストラン事業
展開地域	東海地区：愛知、岐阜、三重、静岡 関東地区：東京、埼玉、神奈川、千葉、群馬 関西地区：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良 九州地区：福岡
店 舗 数	グループ全店直営にて157店舗
従業員数	社員670名 パート・アルバイト6,486名 (株ブロンコビリー単体)
HPアドレス	https://www.bronco.co.jp/corporate/
グループ会社	株式会社松屋栄食品本舗、株式会社レ・ヴァン



参 考 資 料 沿 革

1983年12月	ステーキレストラン経営を目的として名古屋市北区に株式会社ブロンコを設立
1993年 6月	多店舗出店に備え、愛知県春日井市に自社工場（現 東海ファクトリー）を開設
1995年 1月	株式会社ブロンコビリーに商号変更
1997年12月	本社を名古屋市名東区に移転
2004年 6月	オープンキッチンによる炭焼き、大かまどごはん、サラダバー導入の改装開始
2007年11月	JASDAQ上場
2008年 9月	関東地区出店開始
2011年 8月	東証、名証市場第二部上場
2012年 8月	東証、名証市場第一部銘柄指定
2013年 3月	創業者 竹市靖公 代表取締役会長に 代表取締役社長に竹市克弘就任
2014年 5月	関西地区出店開始
2014年11月	関東地区の多店舗出店に備え、神奈川県厚木市に「関東ファクトリー」を開設
2016年 4月	100店舗となる鹿浜店（東京都足立区）開店
2019年 3月	トレーニングセンター併設のオフィスビル「BBビル」を名古屋駅前に開設
2021年 9月	新業態「とんかつ かつひろ」出店開始
2022年 4月	東京証券取引所プライム市場 及び名古屋証券取引所プレミア市場に移行
2022年 7月	株式会社松屋栄食品本舗の株式取得（子会社化）
2022年 9月	九州地区出店開始
2024年 4月	株式会社レ・ヴァンの株式取得（子会社化）
2025年 1月	本社を名古屋市中村区に移転
2025年 4月	竹市克弘が代表取締役会長、阪口信貴が代表取締役社長に就任

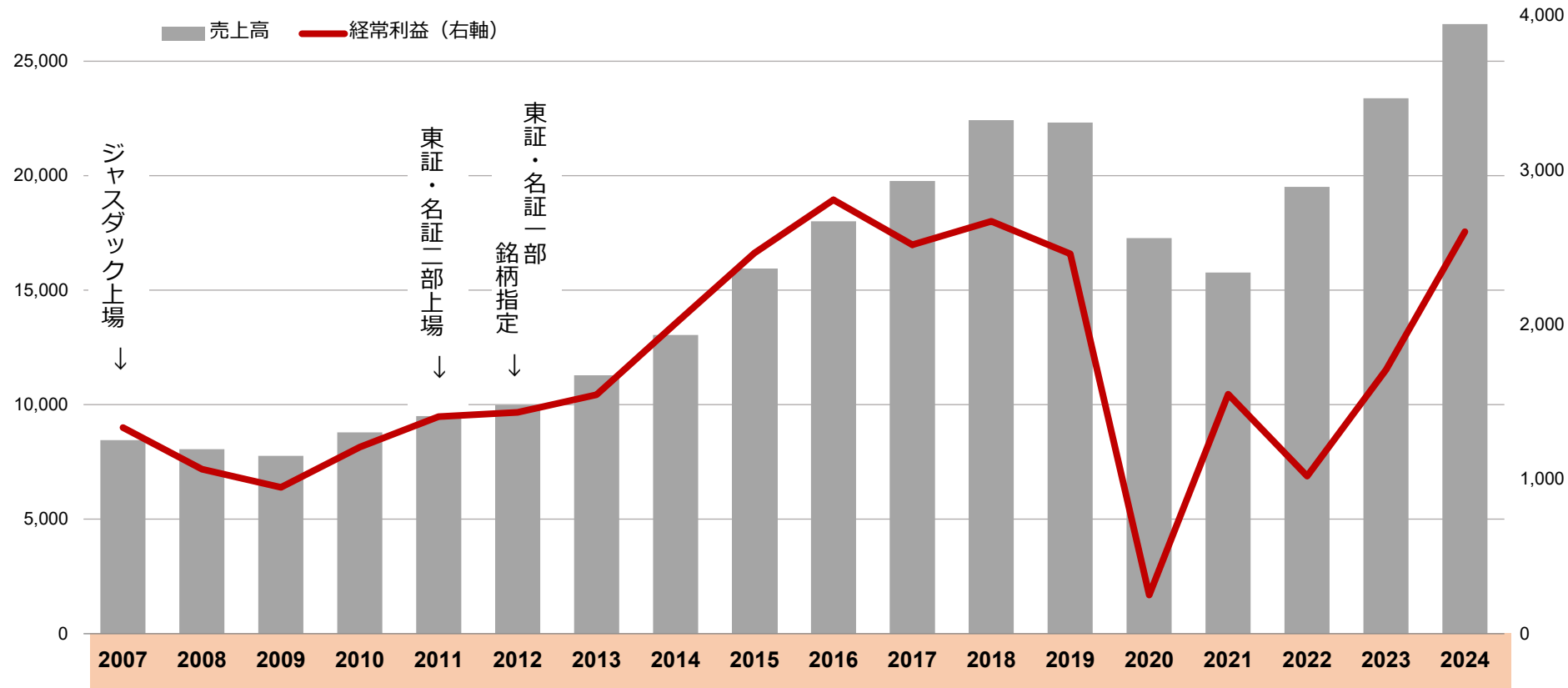


参 考 資 料 業績推移 (2007～2024年12月期)

売上高
(百万円)

※2021年から会計基準を変更しております
※2022年以前の各種数値は単体決算の数値となります

経常利益
(百万円)



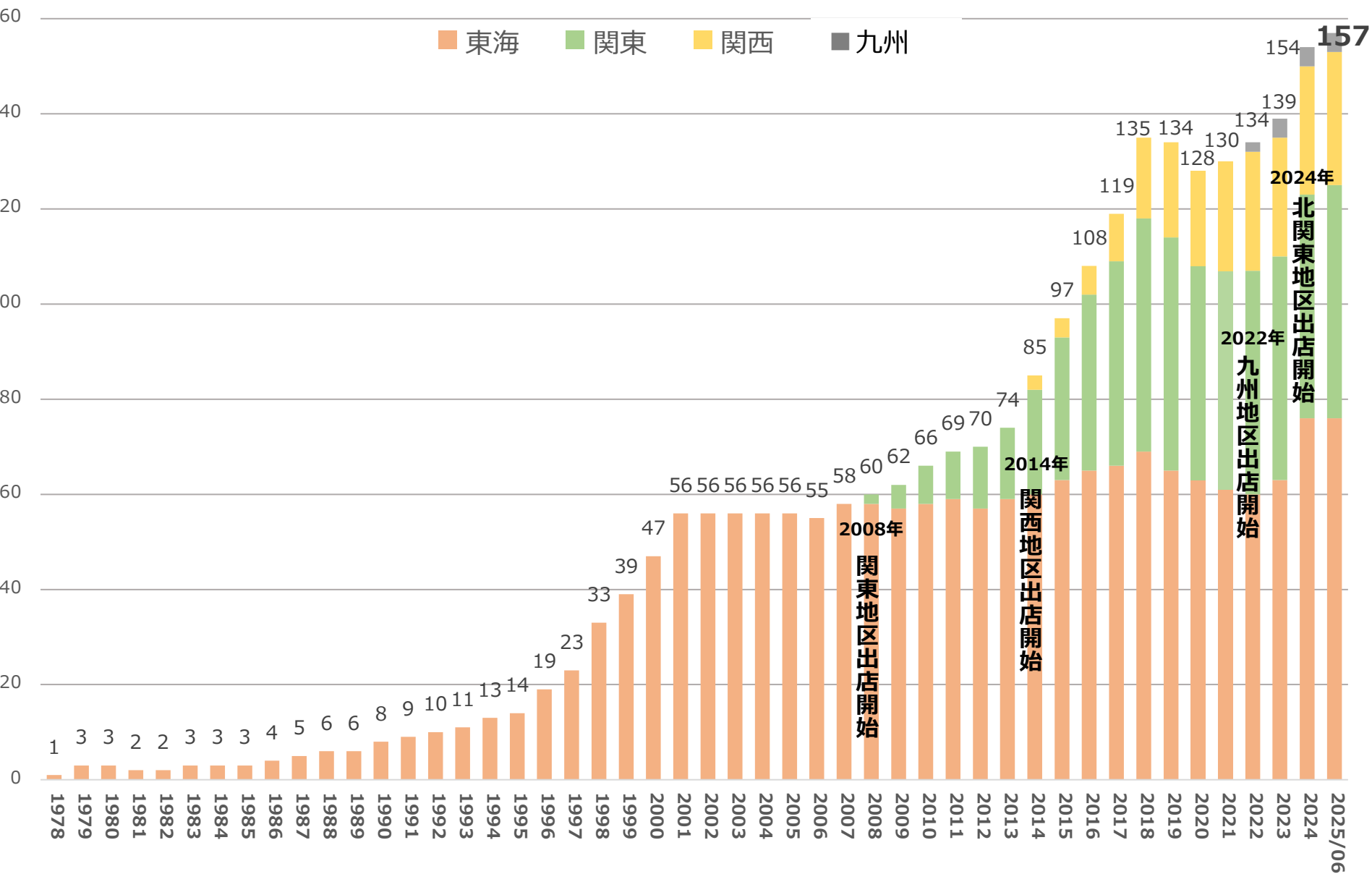
売上高	8,459	8,063	7,767	8,796	9,503	9,983	11,290	13,049	15,926	18,010	19,765	22,432	22,324	17,272	15,773	19,508	23,377	26,617
営業利益	1,355	1,064	938	1,191	1,374	1,403	1,527	2,013	2,449	2,754	2,446	2,597	2,395	162	▲48	746	1,644	2,531
経常利益	1,333	1,064	947	1,207	1,404	1,432	1,546	2,007	2,463	2,807	2,516	2,669	2,458	250	1,549	1,020	1,708	2,600
当期純利益	798	583	523	604	700	869	880	1,237	1,626	1,883	1,744	1,787	1,544	▲588	955	687	1,003	1,715
経常利益率	15.8%	13.2%	12.2%	13.7%	14.8%	14.4%	13.7%	15.4%	15.5%	15.6%	12.7%	11.9%	11.0%	1.5%	9.8%	5.2%	7.3%	9.8%

参考資料 株価推移



※2013年6月30日及び2015年6月30日を基準日として、1株につき2株の分割を実施。
それ以前の株価は当該分割が行われたと仮定し、記載しております。

参考資料 店舗数推移



参 考 資 料 競合他社店舗数比較（ステーキ・ハンバーグ業態）

	合 計	2025年6月30日現在 店舗数																2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年	
		東海				関東（1都3県）				関西				小 計	他 県																
		愛 知 県	岐 阜 県	三 重 県	静 岡 県	東 京 都	埼 玉 県	神 奈 川 県	千 葉 県	滋 賀 県	京 都 府	奈 良 県	大 阪 府			兵 庫 県															
																	出 店 数	閉 店 数	出 店 数	閉 店 数	出 店 数	閉 店 数	出 店 数	閉 店 数	出 店 数	閉 店 数	出 店 数	閉 店 数	出 店 数	閉 店 数	出 店 数
当 社	142	41	9	5	6	10	14	11	12	5	4	2	11	6	136	6	4%	5	6	—	6	5	3	7	3	6	1	5	2	3	—
I 社	172	7	0	0	2	47	13	14	12	1	3	2	11	8	120	52	30%	111	17	2	223	—	47	—	18	1	20	—	11	1	4
B 社	141	3	2	1	3	16	8	11	14	3	3	4	12	9	89	52	37%	1	6	—	14	—	60	—	24	—	20	—	2	—	1
M 社	108	9	3	1	0	2	6	2	6	1	1	1	1	3	36	72	67%	5	6	1	19	—	1	2	2	1	4	—	9	—	4
Y 社	87	6	1	3	3	6	0	1	0	0	2	0	7	1	30	57	66%	3	4	2	11	1	11	—	19	—	14	—	3	3	7
G 社	79	5	0	0	4	4	8	12	4	2	3	3	5	4	54	25	32%	7	4	2	2	—	—	—	2	1	—	1	1	—	3
A 社	67	24	5	5	13	1	4	6	6	0	0	0	0	0	64	3	4%	—	4	—	5	1	3	2	2	3	—	1	1	1	—
D 社	62	0	0	0	0	8	29	2	2	0	2	1	6	2	52	10	16%							12	1	6	9	12	10	—	—
F 社	38	0	0	0	0	11	2	7	4	0	2	0	5	2	33	5	13%	—	3	—	1	—	—	—	2	—	—	1	—	—	—
S 社	34	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0%	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※各社ホームページから当社独自で調査・集計したものです
 ※上記数値に当社グループ内のとんかつ業態等15店舗は含めておりません



本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。

なお、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

問い合わせ先

コーポレート本部 経営推進部

TEL : 052-857-4129

FAX : 052-856-1629

I R サイト

<https://www.bronco.co.jp/corporate/ir/>